

セグメント名		医薬品等の開発振興			担当部局庁	大臣官房			作成責任者			
事業開始年度		平成17年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	厚生科学課			佐原 康之			
会計区分		一般会計										
セグメント単位の考え方		独立行政法人評価制度におけるセグメント分けに基づき作成した。										
根拠法令 (具体的な条項も記載)		独立行政法人通則法 (平成11年法律第103号) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所法(平成16年法律第135号)			関係する計画、通知等	「日本再興戦略」、「科学技術基本計画」、「健康・医療戦略」						
主要政策・施策		科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興						
事業目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		医薬品等の開発振興については、これまでに蓄積した医薬品等の開発支援に係る専門性及び経験を活かして、国内外の最新の技術動向等を的確に把握するとともに、公的試験研究機関、大学、民間企業等と連携を図り、希少疾病用医薬品等を始めとした医薬品等の開発を一層促進する。特に、薬事法改正により、再生医療等製品が新たに定義されたこと等を踏まえ、希少疾病用再生医療等製品を始めとした再生医療等製品の開発にも適切に取り組む。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)		希少疾病用医薬品等開発振興事業 希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器・希少疾病用再生医療等製品の開発を促進するために、マネジメント体制の構築を図るとともに、以下の観点を踏まえ、助成金交付、指導・助言・相談、税額控除に係る認定等の支援事業を充実・強化し、希少疾病用医薬品等の製造販売承認申請を目指す。 ・申請企業に対し、ヒアリング、実地調査等を行い、試験研究の進捗状況の報告を求め、効率的な助成金の交付を実施する。 ・事業の透明性を確保するために、説明会(年2回開催)やホームページ等を通じて、支援制度を周知するとともに、事業の成果等を公開する。										
実施方法		直接実施										
予算額・執行額 (単位:百万円)				26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求				
		経常収益	予算額：運営費交付金		-	972	829	831	-			
			執行額	運営費交付金		-	926	889				
				補助金等		-	-	-				
				その他		-	279	329				
				計		0	1,205	1,218				
		運営費交付金収益の割合		#VALUE!	76.8%	73.0%						
		運営費交付金収益化基準		-	費用進行基準	業務達成基準 期間進行基準	業務達成基準 期間進行基準					
		経常費用	予算額		-	1,059	902	831	-			
			執行額		-	1,067	936					
執行率			#VALUE!	101%	104%							
平成29・30年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由							
	人件費		226	-								
	運営費		156	-								
	事業費		449	-								
	計		831	-								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標			単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 33 年度
		新規に助成金を交付して3年を経過した時点において、承認申請に至った品目の割合		製造販売承認申請数	成果実績	%	-	50	62.5			
					目標値	%	-	33.3	33.3	-	33.3	
					達成度	%	-	150.2	187.7			
根拠として用いた統計・データ名 (出典)		開発状況調査票										
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
		開発企業に対する説明会			活動実績	回	-	3	3	-	-	
					当初見込み	回	-	3	3	3	3	

単位当たりコスト		算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
		開発助成費(百万円)／開発助成件数		単位当たりコスト	百万円	－	40.6	47.9	
				計算式	/	－	853/21	718/15	
独法等所管部局による点検・改善									
	項 目					評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。					○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、広く国民のニーズがある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					○	国の政策課題の解決に向けて実施している事業である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。					○	より有効で安全な医薬品、医療機器の研究開発を支援するため、優先度の高い事業ある。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					○	随意契約であっても、企画競争や10万円を超える契約については複数者より見積を徴するなど、競争性を確保するよう努めている。 また、今後も競争性・透明性を確保するとともに、真にやむを得ないものを除き、可能な限り一般競争入札とし、経費の削減に努めていく。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。					有			
	競争性のない随意契約となったものはないか。					有			
	受益者との負担関係は妥当であるか。					－	－		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。					○	事業の遂行について、妥当なコスト水準を維持している。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					○	事業の適切な遂行について、必要な経費に限定されている。		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					○	事業目的に即し、必要なものに限定されている。		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。					○	事務用品の一括調達、コピー機等の複数年リース契約を行い、効率化に資する取組を推進した。		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。					○	成果実績は成果目標を上回っており、見合ったものとなっている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					○	研究所の会計規程等に則り契約を行っており、他の方法等より低コストで実施することが出来る。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					○	活動実績は当初見込どおりであり、見合ったものとなっている。		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					○	研究成果を通じて医薬品等の開発に活用されている。		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					○	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金は施設整備のための経費であり、本事業とは事業目的が異なるため、適切な役割分担が行えている。		
	所管府省名	事業番号	事業名						
	厚生労働省	0887	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所施設整備費補助金						
点検・改善結果	点検結果	・医薬品等の開発を支援する研究開発独立行政法人の運営に必要な交付金であり、国が交付金を予算措置する必要がある。 ・希少疾病用医薬品等の開発については、厚生労働大臣が特定した者に対する開発助成金となっている。 ・原則一般競争入札や公募による企画競争等が行われ、競争性が確保されている。							
	改善の方向性	予算をほぼ執行できる見込みであり、事業の目標も達成できており、このまま継続して事業を実施する。							
備考	平成27年度より新規中長期計画がスタートし、セグメントが変更となったため、平成26年度以前の予算額等については未記載とした。								

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)	※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。				
	厚生労働省 3, 6 7 5 百万円 【運営費交付金】 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 3, 6 7 5 百万円 医薬品等の開発振興 8 8 9 百万円 【一般競争契約（最低価格）等】 A. 知的財産戦略ネットワーク株 ほか 1 件 4 百万円 【業務委託費】 【その他】 B. A 株式会社 ほか 8 件 7 1 6 百万円 【希少疾病用医薬品等開発助成費】 ※上記の外部支払の他に、主たる使途である法人内の費用項目は以下のとおりである。 ・人件費等… 7 7 百万円				
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.知的財産戦略ネットワーク(株)			B.A株式会社	
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	金 額 (百万円)
	業務委託費	早期事業化・収益最大化に向けた知的財産戦略に関する支援業務 1式	3	開発助成費	161
				開発助成費	63
	計		3	計	224

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	知的財産戦略ネットワーク(株)	1010001126065	早期事業化・収益最大化に向けた知的財産戦略に関する支援業務 1式	3	随意契約 (企画競争)	2	100%	
2	大阪医薬品協会	-	分担金 1式「彩都産学官連携フォーラム2017」開催事業費	0.4	随意契約 (その他)	-	100%	

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となつた理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	A株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	161	補助金等交付	-	100%	
2	B株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	94	補助金等交付	-	100%	
3	C株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	92	補助金等交付	-	100%	
4	D株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	75	補助金等交付	-	100%	
5	E株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	66	補助金等交付	-	100%	
6	A株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	63	補助金等交付	-	100%	
7	国立大学法人A	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	43	補助金等交付	-	100%	
8	F株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	35	補助金等交付	-	100%	
9	国立大学法人B	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	26	補助金等交付	-	100%	
10	B株式会社	-	希少疾病用医薬品等開発(助成金交付)	26	補助金等交付	-	100%	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となつた理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1		-	-	-	-		-	-	-